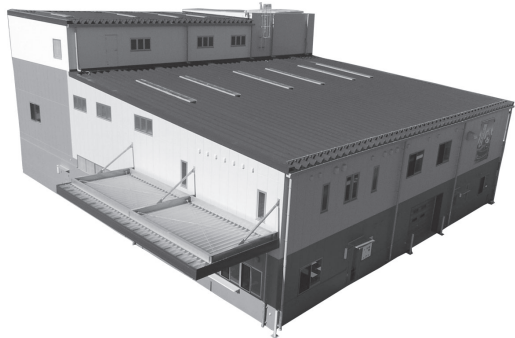


危険物を持ち込める施設

いたくらリサイクルセンター Itakura recycling center



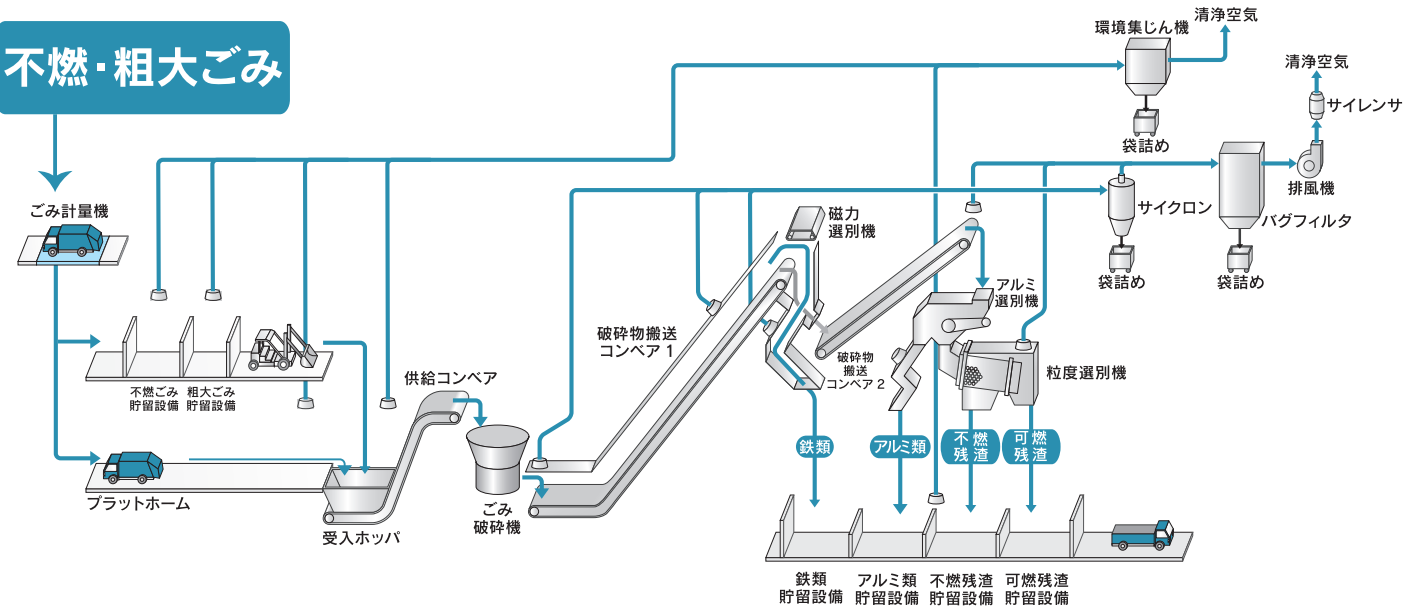
◀いたくらリサイクルセンターへ直接持ち込みすると、施設内の設備により粉碎されたのち、機械選別によって資源化されます。



- 循環型社会に対応し、不燃ごみや粗大ごみの中から資源物を回収することを目的とした施設です。
- ごみ処理工程で発生する粉じんは、施設内の設備により安全に処理されます。
- 電力の一部を敷地内に設置した太陽光発電施設でまかっています。



不燃・粗大ごみ



ごみステーション garbage collection point



▲ごみステーションに出された危険物は、町の委託業者が収集・手選別したのち、リサイクル業者に引き渡されて処理されます。



▲残渣(ざんさ)として選別された危険物は、搬出ののちに埋め立てられます。

燃えないごみ

危険物はどこへ



問合せ 環境下水道係
☎82-6132



町ではごみの減量化を目指して、ごみの分別・再資源化を推進しています。

ごみを分別せずに捨ててしまうと「処分の際に温室効果ガスが発生する」、「埋め立てても分解されず、環境汚染につながる」、「処分をする際に余分な負荷がかかる」などの悪影響があるほか、再資源化できるものまで処分されてしまい、ごみの増量につながってしまいます。

特に、危険物の分別は収集・選別作業時のけがを防止するという観点からも非常に重要となります。

今回の特集では、施設に持ち込まれた危険物のゆくえを取り上げます。危険物を持ち込める施設は「いたくらリサイクルセンター」もしくは「ごみステーション」となりますので、それぞれの場合に分けて、次のページで紹介いたします。